

## 遭難しかけた船が無事帰還！！



10/26・27

—その昔、遭難しかけた船が新治神社付近の灯りへ向かい生地に無事帰還。これに感謝し、550年以上前から行われているのが生地のたいまつ祭り。各町が町内を回り、餅やお菓子をまきながら、賑やかに新治神社へ向かいます。クライマックスは日付が変わった後、燃え盛る松明を敷いた参道を厄年衆が「オタッチョー」と声をあげ神輿を担いで渡ります。「オタッチョ」は「神様がお立ちになる」という意味だそうです。奇祭とあり外国人観光客の方も見に来ていました。(熱でスマホが一時使えなくなり、クライマックスの撮影不可となってしまったくらい熱いです！)

## 用水が通った喜びと感謝！

10/5



200年以上前、舟見野台地(愛本新一帯)では田畑を拓く水がなく困窮、その地に念願の用水が完成し、それを祝い村の人々が松明を持って水を迎えに行ったことがこの祭りの由来です。爺・婆のお面をかぶった「がんねん」はホウキで通り道を払い清め、一基400kg超える松明を男衆が担ぐ勇ましいお祭りでした。担ぐ毎に歌い手の歌が始まり「どっこいどっこい...」の掛け声とともに歩く姿が印象的でした。担ぎ手の方はたいてい長靴をはいており、不思議に思い聞いてみると、「昔は田んぼの中まで入り込んだ」と。昔は容易に近づけなかったと思われま。

## ちやべちやべと通信

Vol.1発行  
2018.11.19

黒部市 地域  
おこし協力隊

隊員

杉田 晋一  
(奈良出身)  
趣味:  
釣り・ご飯

小澤 泰史  
(愛知出身)  
趣味  
釣り・酒・旅

## 各地域、天狗・獅子が舞う！(若栗・栃屋・下立に行ってきました)



若栗の獅子舞と若莖神社の天井絵と絵馬



下立の獅子舞と  
下立神社の天井絵



栃屋の獅子舞

お祭り月間の10月!  
たいまつ祭り!獅子舞!



若栗(10/17)・下立・栃屋(10/21)で秋の祭礼が行われました。入善町新屋から獅子舞が伝わったとされますが、それぞれ衣装や獅子の大きさ・表情をはじめ、舞いやお囃子のテンポ、動きや演目も少しずつ違い地域ごとの面白味を感じました。刀は、金属のみ、竹刀のみ、両方使うと言った違いも!ジジ・ババの表情も違ったり、演出もとてもユニークで笑いも誘っていました。若莖神社、下立神社の拝殿・本殿には見事な天井絵や絵馬を見ることが出来ました。天井絵は武将の絵が多い印象で、迫力を感じました。来年も見たい目を変えて楽しんで見たいものです!

お祭りを見て...

獅子舞や松明祭りといったお祭りは決して「普通のお祭り」ではないんです。他県の人から見れば珍しいものなんです!! どの祭りも地域の賑わいのひとつになっており、今後もたくさんの人に愛され、大切に残されてほしいと毎回感じました。この紙面で間違った内容、こんな祭りや魅力があるんだぞなどあったら教えてください!

# 三日市がおおにぎわい！！老若男女が集った市姫通！



第1回

ウェルカムボードと賑わい（クロベストリートマーケット）



第43回

お馴染みダンゴまき（やってみっか市）

10/13(土)三日市市姫通にてお馴染みの第43回やってみっか市が開催。また同日開催で第1回クロベストリートマーケットが開催されました。やってみっか市ではお馴染みフリーマーケット出店やだんごまき、ストリートマーケットでは市内外のこだわり・手作り作家・飲食店が出店、ほか参加型のワークショップを開くお店や黑板アート、そして双方ともライブミュージックもあり地元のお客さん・市外からのお客さんが両イベントを歩き来し、市姫通は多くのお客さんで大賑わい、相乗効果でいつもと違った三日市が見えました。両イベントが支えあってさらに盛り上がっていき今後も続いているいろいろな方に黒部に訪れてもらいたいですね！次回も楽しみですね☆

## 里山って何がある？前山里山を体験しよう！



滑り止め安全対策



思い思いに散策



そばのはさがけの様子

自然と生き物に触れる「里山フィールド体験」が10/10に市内児童を対象に前山里山(前沢)で行われました。

(黒部どんどこプロジェクト主催、NPO法人明日育・前山里山ホテルの会協力)

当日は生憎小雨で「中止」の2文字がちらつきましたが、児童センター側より、「子供は雨具を着てやる気」とのお知らせ。運営側は児童のやる気に半信半疑で安全対策を講じたり、事前に紹介用のコオロギ・カワニナ・沢がにを数匹捕獲。児童到着後、里山の説明。その後児童の里山散策開始…。運営側・先生・親御さんもびっくり！捕獲済みの生き物には見向きもせず、里山中を散策、中には用水に入り込む子も！

びっくりするほど多くの生き物を見つけ、捕まえ里山の自然の豊かさを親御さんと感じとっていました。

12/2(日)には続編「そば打ち体験」!!

昔ながらの里山の作業(手で刈り、結束、はさがけ)で収穫されたそばを使います。

## クイズ！？黒部のコト

## 布施谷 の読み方は？

答えは次回号で！

月末か月初めに発行予定でしたが要領掴めず月半ばとなりました。。。今後もやわやわと発行していく予定です。黒部の普通な事から特殊な事まで何でも教えてください！でしゃばって書かせてもらいます！黒部に残る伝統(文化・工芸)、イベント、旬な食べ物やレシピなどもどしどし教えてください！PRしたいことなども教えてください！



生地コミセン 0765-57-1011(杉田)、黒都市役所 0765-54-2115(小澤)